

環境

ワイズメンズクラブ国際協会



健康



教育



年次報告書

2023/24



国際会長メッセージ

2023-24 国際会長

ウルリック
ラウリドセン



親愛なるYMIクラブ会員、友人の皆さんへ

年度の締め括りにあたり、皆さんとともに歩んだこの衝撃的な1年を振り返りたいと思います。献身、回復力、そして革新性を特徴とする1年であり、私たちは、奉仕とグローバルコミュニティ構築というミッションを生き続けました。

協働によるコミュニティの強化

協働の精神は、今年度の中心的なテーマでした。気候変動、食料安全確保、健康と福祉など、重要な問題に取り組むために、さまざまな地域やクラブが協力し、目覚ましい活動を展開しています。

なかでもカリブ海諸国地域で組織された「限界を超えて2024」と題された画期的なバーチャルでのサミットの取組には、大きなインスピレーションを与えられました。このサミットではSDGsのゴールである「飢餓をゼロに」、「気候変動に具体的な対策を」、「すべての人に健康と福祉を」といった課題について多様な背景を持つ多くの方々の声を集めることができました。このようなイベントは、私たちの地球規模での奉仕や団結を強調する上でとても良い活動です。

多様性と包摂性の促進

私たちの組織にとって、誰も排除されないという包摂性、は中心的な価値を持っています。今年度は、ワイズ運動とYMCAの関係を再評価しさらに強化していくため、共通の目標をもって地域奉仕に努めるいくつかのステップを講じました。新たな取り組みにより、組織の規模や機能をさらに強化し、オープンで多様性豊かなコミュニティに進化し続けます。

ユースの参加と能力開発

インドや米国を含むいくつかの地域で若い会員獲得にむけて、研修や成長にむけての環境を提供する取り組みが行われています。このような新しい取り組みを通じて、学校から大学へ続く次世代への支援を続けていくことは、私たちの社会の持続可能な成長を確かなものにしていくために不可欠です。

学びと適応の一年

この1年、困難がなかったわけではありません。ワイズ運動の向上のために、私たちは、改善し、適応して一致団

結する工夫をしました。デジタル化の時代にあって、私たちは、私たちの価値観に沿うかたちで近代的な組織運営の手法を学びつつあります。

奉仕と連帯による調和

奉仕は、私たちの活動の中心です。国際会長裁量緊急援助基金から米国、チリ、ブラジル、ケニアに支援金が支給され、多くのTOFプロジェクトとIBC締結の支援に充てられました。私たちのミッションがこのように達成されたことを誇らしく思います。このような奉仕活動に貢献、尽力いただいたすべての会員のみなさん、特に地域コミュニティへの奉仕に多くの時間と資源を注いでくださっている方々に感謝申し上げます。

次年度にむけて

次年度を迎えるにあたり、私たちがこのような土台の上にさらに豊かに築いていくことを推し進め、共に働いていきましょう。包摂性の促進、ユースの参加、新しい地域奉仕の取り組みを続けていきましょう。臨機応変に対応し、過去の教訓から学び、希望と強い決意をもって、未来に挑む姿勢を持ち続けましょう。「すべての人々のため、より良い世界を」実現する私たちの使命が、今ほど求められることは、かつてなかったでしょう。そして私は、みなさんと共にこの使命を達成できることを確信しています。

最後に、地域会長、国際執行役員、そしてすべてのクラブ会員のみなさんの絶え間ない努力と尽力に、心より感謝申し上げます。皆さんの情熱と献身こそが私たちの運動を前進させるのです。共に笑顔で、お互いにコミュニケーションを楽しみ、そしてYMIの光を輝かせていきましょう。

感謝と祈りとともに

ウルリック・ラウリドセン
2023/24年度国際会長

要約

国際書記長

ジョース
ヴァルギース



ワイズメンズクラブ国際協会は、地球規模の運動として、地域社会への奉仕と世界的なミッションパートナーとしてのYMCAの支援に尽力し、102年目の活動を、誇りを持って終えました。2023/24年は、「輝かそう、あなたの光」という国際会長主題に導かれ、ワイズメンズクラブ国際協会の歴史に新たな1ページが刻まれた年であり、ジュネーブの新国際本部の正式オープンによって、その歴史が新たに刻まれました。国際的な協力関係を促進し、組織の成長を促すという私たちの取り組みは、私たちの使命の重要な構成要素として、引き続き私たちの努力の最前線にあります。

この1年を通じて、ケニアでの国際議会、デンマークでの国際次期理事サミット、臨時国際議会やアフリカ、アジア太平洋地域、韓国、インドでの地域大会等いくつかの重要な行事を開催しました。

さらに、シカゴで開催された奉仕クラブ・リーダー会議では、国際奉仕クラブとしての参画と協力を強化する貴重な機会が提供されました。これらの会議は、親睦を育み、世界的に意義ある変化を促進することへの私たちの献身を示すものであります。

今年度の国際会費支払い済みの会員数は21,793名です。その内、南アフリカ、ボツワナ、クウェート、ルワンダといった新しい国々を含む83の新しいクラブがワイズメンズクラブ国際協会ファミリーに加わったことは、100カ国で存在感を示すという私たちの目標に沿うものであり、心強い報告です。

しかしながら、国際的なプログラムへの献金が減少し続けているという懸念すべき傾向も見られます。このような状況にもかかわらず、ワイズメンズクラブ国際協会は、アレクサンダー奨学基金(ASF)から10,000スイスフランを寄付し、2024年3月にコソボで開催された世界YMCA同盟主催の各国の同盟総主事研修を支援することができました。

さらに、アフリカ、ラテンアメリカ、インド、韓国、ヨーロッパからの5人のBF代表が、それぞれイタリア、アラブ首長国連邦、中央南ヨーロッパ、カナダ、韓国を訪問することができました。

クラブ間の世界的な友好関係をさらに促進するため、今年度は、2つのIBC(国際兄弟クラブ)と1つのトライアング

ルIBCが締結されました。国際議会は、さらに、10件の新しいTOF(断食のとき)プロジェクトを承認し、8件が成功裏に開始されました。TOFの献金は、さら国際会長裁量緊急援助基金のもと、ハワイとチリの山火事とナイロビの洪水の被災者への支援を行いました。

スイスの法規を遵守し、国際銀行取引業務と非課税特権を維持するため、国際憲法を改正し、スイス商業登記簿への登録申請書を提出しました。

事業支出は、予算内に収まったものの、スイスの法律が要求する憲法改正に関連する法的支援費用が追加で発生しました。会員数の減少に伴う会費収入の減少は、事業収入全体に影響を及ぼしましたが、幸いなことに、投資からのリターンが増加したため、総資産は、増加し、現在、620万スイスフランとなっています。

こうした経営上の課題に加え、次期国際会長チャーミング・シェンの突然の健康危機により、国際会長の職責を担うことができなくなり、予期せぬ困難に直面しました。

また、タイのチェンマイで開催された第74回国際大会の運営と推進にも多大な時間と労力を費やしました。

この年次報告書には、会計報告、監査済み決算報告書、献身的な奉仕と献金に対して役員や会員に授与された様々な賞の報告が含まれています。また、新しく改正された国際憲法も含まれています。

私たちは、ワイズメン精神に火をつけ、献身と情熱をもってこの運動をリードするために、卓越したリーダーシップと揺るぎない献身的な姿勢を見せてくれたすべての国際執行役員、国際議員、国際事業主任、委員会、理事、部長、クラブのリーダー、国際本部スタッフに心から感謝の意を表します。

ジョース・ヴァルギース
国際書記長

2023/24 ハイライト

▶ 年次国際議会

年次国際議会が2023年7月22日から25日にかけて、ケニアのナイロビで開催されました。アフリカで国際議会が開催されるのは25年以上ぶりで歴史的な国際議会となりました。議会は、ナイロビYMCAの支援のもと、ケニア部が暖かく効率的にホストを務めました。参加者は、2013年度のTOFプロジェクトの補助金によって設立されたティカYMCAのコミュニティセンターを見学しました。施設の見学や現在および今後の活動についての説明が行われました。プロジェクトへの献金者を称え 施設の落成式が行われました。

国際議会のメンバーは、39の議案を審議し、35の議案を承認しました。2つの議案は、撤回されました。若手の会員の会費割引拡大に関する2件の議案は、いずれも否決されました。

残りの期中、国際議員は、8回の電子投票を要請されました。このうち2件は、2024/25次期国際会長候補者の指名に関するものでした。ほかの6つの議案は、承認されました。



▶ 国際本部



新しい本部

2022年に購入したスイスのジュネーブにある134平方メートルの新オフィスは、2023年9月27日、国際会長ウルリック・ラウリドセンによって正式にオープンしました。このイベントには、多くのYMIやYMCAの要人、地元のゲストが出席しました。

iMIS

昨年、ポータルバズの会員管理システムからiMISに移行したことで、デジタル機能が大幅にアップグレードされました。

iMIS

10年にわたりポータルバズに依存してきましたが、親会社がポータルバズを廃止したことで、増大する運営上のニーズに対応するため、より高度なソリューションが求められることになりました。広範な検討の結果、iMISが後継システムとして選ばれました。iMISは、非営利団体や協会向けに特別に設計された最高級の会員管理システムで、効率性と会員管理の強化を目的としています。

Simply Voting

Simply Voting

2023年から24年にかけて、国際選挙で使用されていたScytI社の「Invote Now」プラットフォームの廃止に伴い、新しい投票システム「Simply Voting」が導入されました。代替オプションを徹底的に評価した結果、強固なセキュリティ機能、費用対効果、厳格なデータ保護規制への準拠を理由にSimply Votingが選ばれました。



国際憲法の改正

YMIによるスイス商業登記所への登録申請(スイスに所在し、国際的に資産を収集・分配する団体のための新規定)が却下されたことを受け、2023/24年度中に、この問題に対処するために以下の措置が講じられました。

- 商業登記官との協議
- 団体法を専門とするスイスの法律事務所の特定と契約
- 憲法審査委員会のシルビア・レイエス・デクロチ委員長および「憲法と組織構造の近代化」タスクフォースのビョルン・アルヴェ・ベンツェン委員長と協議して改正案を起草
- 憲法審査委員会メンバーへの草案文書の回覧と説明を行い、メンバーの意見を取り入れた。
- 2024年3月24日にデンマークで開催された臨時国際議会での審議のために、修正案を説明付きで国際議会に提出し、出席した10人の議員全員が承認
- 国際次期理事サミットの参加者と修正案を共有
- 国際憲法の明確化と一貫性を保つための最終的な修正
- 区/地域向けのオリエンテーションの実施
- 投票のためにクラブへ資料を提出
- 改正国際憲法の承認
- 商業登記所への文書の再提出

2024年の改正案は、圧倒的な支持を受け、参加クラブの98.9%が賛成票を投じました。この強力な支持は、組織の構造を近代化し、その将来を確保するために適応させるという統一されたコミットメントを反映しています。「憲法と組織構造の近代化」タスクフォースは、2024/25年度もYMIの枠組みが現状に合致していることを確保するための取り組みを継続します。



▶ 臨時国際議会および国際次期理事サミット


2024年3月、第4回国際次期理事サミットが、全8地域と31区を代表する50名以上の参加者のもと、国際会長の故郷で開催されました。会議では、各区のプロジェクトの効果的な管理、運営、YMCAとのパートナーシップと資金調達戦略、各区のプロジェクトの遂行およびエクステンションに関するプレゼンテーションがありました。次期区理事に対する標準的なオリエンテーションに加えて、次期クラブ会長研究所会、ワイズメネットクラブ、ワイズユースクラブおよび国境を越えたエクステンションに関する討議が行われました。

次期理事サミットに先立ち、1日間の臨時国際議会が開催され、国際憲法改正案についての討議と投票が行われました。




▶ 次期クラブ会長(CPE)研究所

2023/2024年度には、次の3つのテーマでZoomでのセッションが開催されました： 会員増強、クラブ資金調達、YMIのコミュニケーション。各セッションには、多くの参加者があり、その後のフィードバックによると、高く評価されました。2024年8月には、国際大会の前にタイのチェンマイで、対面参加のコンクラーベ(ワークショップ)を開催しました。コンクラーベの目標の一つは、地域と地方レベルのトレーナーを育成するプロセスを開始することでした。



目標

- ・バーチャルとリアルでのプログラム
- ・対応する教材
- ・組織中からファシリテーター
- ・eラーニングのプラットフォーム
- ・組織内外から豊富なリソース



ビジョン

- ・鼓舞され、意欲的なクラブのリーダー
- ・アイデアを共有するための共通の場
- ・知識継承の場
- ・自己学習の機会

緊急対応

大規模な自然災害の発生頻度は増加しており、YMIは、それらへの対応を続けています。2023/24年には、国際会長裁量緊急援助基金は、TOFの資金を以下の用途に使用しました。

- ・ ハワイの山火事被災者への支援 (5,000 米ドル)
- ・ チリの山火事被災者への支援 (3,000 米ドル)
- ・ ケニアのナイロビにおける洪水被害への支援 (3,000米ドル)
- ・ ブラジルの洪水被害への支援 (3,000米ドル)



2024年国際大会の計画

バンガロールそして後のフィリピンからの開催オファーの撤回を受け、2024年国際大会の代替案が必要となりました。様々な選択肢を検討した結果、チェンマイYMCAとチェンマイワイズメンズクラブの支援とIHQの運営援助により、解決策が見出されました。革新的なアプローチが採用され、祭りの親睦を強調することで、伝統的な国際大会の日程を活性化させるユニークなプログラムが導入されました。年間を通して定期的に計画会議が行われ、2024年5月に国際大会委員長と国際書記長による最終視察が行われました。

